

スキヤニングサービス マイクロフィルムの電子化

マイクロフィルムは永久保存メディアとして、
図面や重要資料の保存や、官公庁の工事の竣工図に永年使
われてきました。しかし最近では、マイクロフィルムを見たり印刷したりする
機器が次々に製造終了になり、それを機に電子化して活用する事例が増えてきています。

マイクロフィルムの種類



ロールフィルム
(16mm・35mm)



アパチュアカード



マイクロフィッシュ

・マイクロジャケット・COM フィルム



マイクロフィルムをスキャンして、
PDF や TIFF データにすることが可能です。

**是非弊社にご相談下さい。
(マイクロフィルムの作成もできます。)**



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<http://www.d-kowa.co.jp/>

<http://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
電子化業務 紙文書・紙図面スキヤニング(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキヤニング、WEB制作

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウワノ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.29

2018

2

February

コウワノ

2

Vol.29

発行所：株式会社宏和

所在地：〒577-0012 東大阪市長田東1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和



先日なにげなく TV を観ていると将棋の羽生善治名人が出演されていて、家族
の言葉が紹介されていました。「お父さんは、めったにネガティブなことを言わ
ない」とのこと。ご本人曰く、「ネガティブなことを言うところから意識がネガティ
ブになることがあるから」と仰ってました。さすが名人ですね。実際そういうこ
とがあるように思います。見習わなくてはと思いました。まだまだ寒い日が続き
ます。皆様お体ご自愛下さい。

代表取締役 日笠宏昭

東大阪の歴史探訪

鴻池新田会所



入口(表長屋門)

「鴻池新田会所」は、江戸時代に豪商鴻池家が開発した新田の管理・運営をおこなった施設です。初めて訪れたのですが、敷地の大きさ（10,662㎡）、保存されている建物や資料、維持管理された庭園など、なかなか見どころのあるところでした。東大阪の歴史を知るにも良い所です。休日のひとときにぶらっと訪れてみてはいかがでしょうか。



本屋



文書蔵



本屋座敷

歴史

現在の東大阪地域は、昔から低湿地で、河内平野をいく本にも分かれて流れ淀川に合流する旧大和川が度々氾濫し洪水を起こしました。人々の生活は常に水との戦いであったといえます。水害に苦む旧大和川流域の農民たちは、幕府に治水工事を嘆願しました。今米村の庄屋、中甚兵衛が中心となって嘆願運動を続けた結果、1703年幕府は大和川の付替工事を決定、1704年には工事が完成しました。付替工事後、流域各地(約50ヶ所)で新田開発が行われました。鴻池新田はその中でも最大級で、約200町歩(200ha)を占めていました。新田では、主に米と綿が栽培され、江戸時代には、綿とその製品はこの地方の主要産物でした。鴻池新田会所は、鴻池新田の開発と並行して1705～1707年に造られました。



米蔵内部



米つき場

会所でおこなわれていたこと

会所では、鴻池家から派遣された支配人のもと、下記のことがおこなわれていました。

- 小作農民からの小作料・肥料代の徴収
- 幕府への年貢上納
- 耕地・家屋の管理・補修
- 宗門改帳(*1)の作成・整理
- 老人への米の配給
- 幕府や鴻池家からの指示伝達
- 新田内の争いの裁定

(*1) 江戸幕府がキリスト教禁制を徹底させるため、寺院にその檀徒であることを証明させた帳面



米蔵



座敷内部



本屋土間



庭園



道具蔵内部

文化財

国の史跡：敷地全体

重要文化財：本屋、屋敷敷、文書蔵、米蔵、道具蔵、本屋座敷の宝暦9年棟札、米蔵の享和2年御札

★ポイント★

1. 鴻池新田は、江戸幕府が鴻池家に委託した、今で言う「民間委託事業」
2. 他の新田では天候不順や小作人との争議で経営者が度々変わったが、鴻池新田は約240年間経営者が変わらず続いた。
3. 会所は様々な事務のほか、争いの裁定や、浄瑠璃や相撲などの余興まで、村の中心として機能していた。

<鴻池新田会所：利用案内>

所在地：東大阪市鴻池元町2-30

TEL 06-6745-6409

観覧時間：10:00～16:00

休館日：月曜日、祝日の翌日（土日を除く）
（WEBサイトでご確認ください。）

入館料：大人 300円、小・中学生 200円

アクセス：JR学研都市線「鴻池新田」

駅から徒歩5分（入口は南側です）

駐車場 なし